Face to Face―書けば伝わる、共感する。
Nichigaku
News Release

情報解禁日：11月9日(月)

2026年11月9日発行
No.1/2

第11回 日学・黒板アート甲子園® 最優秀賞決定！

11月8日（日）に実施された表彰式にて、最優秀賞を始めとして各部門の受賞校が決定

メイン大会は宮崎県立佐土原高等学校、ジュニアの部は真岡市立真岡東中学校が最優秀賞を受賞！

黒板-ホワイトボードメーカーの日学株式会社(東京都品川区　代表取締役社長　吉田朋弘)は、今年で第11回大会となる、中高生の皆さんが対象の黒板アートの全国大会、第11回　日学・黒板アート甲子園®の最終結果を発表しました。11月8日実施の表彰式にて、メイン大会、ジュニアの部それぞれ6作品、計12のノミネート作品から最優秀賞・優秀賞・入賞を発表し表彰しました。

■メイン大会(黒板アート高校生) 最優秀賞



▲宮崎県立佐土原高等学校「いけない！遅刻遅刻～！」

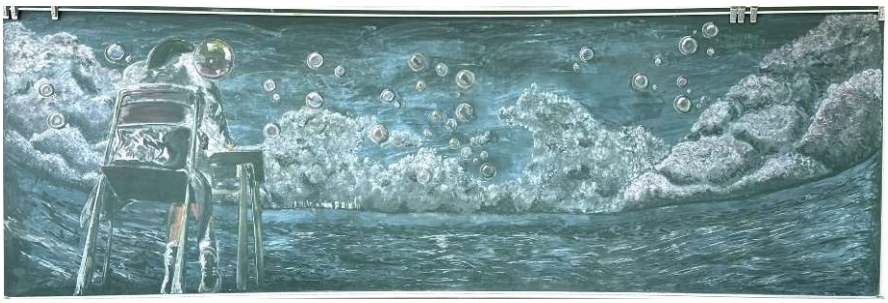
・<制作エピソード>
少女漫画と現実のギャップを表現するために、絵柄が左右ではっきり異なるように意識し、チョークのタッチも工夫しました。少女漫画の食パンを高級にしてみよう、左右の二人とも主人公の方を向いていたほうがいいかもなど、制作中にグループ内でアイデアを出し合いより面白い作品を作ることができました。

チーム名：佐土原高校チームA　/7人

<審査員 武蔵野美術大学 三澤一実 教授 コメント>

この作品の魅力は高校生の日常にあるリアリティーと表現の斬新さにあります。リアリティーとは誰もが経験していそうな"遅刻！"に対する焦りであり、そのテーマをマンガ表現を組み合わせたコミカルな作品に仕上げています。斬新さは、横長の黒板を半分から斜めに切り分け、右半分には再現的な描写で、急ぎ走るために振り上げた左手を大胆に入れて注目させています。そしてマンガ表現の左半分には「ダッ」という文字を入れ、更に黒板の両端に青年と右の老人を配置し、左右対称の世界を表現しています。見る人に迫ってくる強いメッセージ性と工夫された表現が共感を生む高校生らしくフレッシュなそして楽しい作品です。

■ジュニアの部(黒板アート中学生) 最優秀賞



▲真岡市立真岡東中学校「私の描く世界」

・<制作エピソード>
初めて挑む「黒板アート甲子園」。
６人でアイディアを出し合い、顧問の先生の助言を受けながら取り組みました。担当を決め、なんとか進めていき、描いていくうちに仲間との絆も深まった気がします。
「私の描く世界」は、女子生徒が"自分の世界"を描くその一瞬を表現しました。自分の世界は自分自身が決めることができるということを考えながら描き進めました。

チーム名：KAY MARK　/7人

<審査員 日本チョークアーティスト協会　熊沢加奈子 会長 コメント>

初挑戦とは思えない完成作品からの力強いエネルギーと明るさ、今だからこそ描ける学生のまっすぐな世界観を作品から感じることができる作品です。黒板を通じてモチーフが動き始めるのではないかと錯覚するようなダイナミックな印象と描き手の意志の強さを感じられました。

受賞作品の詳細は、大会サイトでご確認ください。
第11回 日学・黒板アート甲子園®

上位入賞10チームが一堂に会する表彰式を開催！

全員で書き上げた「みんなで黒板アート」の作品前で記念撮影



【主催者（代表取締役社長 吉田朋弘）コメント】 ※一部抜粋

毎年、皆さまからの応募作品を拝見していて、一つもどかしく感じることがあります。
それは、黒板という大きなキャンバスに描かれた作品を、審査では写真を通してしか見ることができないことです。
実際の黒板だからこそ伝わる迫力や質感、そして作品に込められた思いまで、一枚の写真ですべてを伝えることはできません。
今日も作品そのものには会えませんが、作品を生み出した皆さんにお会いできる。この機会を私自身、大変楽しみにしていました。
そして皆さんにとっても、学校の枠を越えて集い、日本のトップクラスの黒板アーティストが語り合える貴重な機会です。
そこから、さまざまな刺激や「化学反応」が生まれることを期待しています。
今日は表彰式ではありますが、順位や賞だけがすべてではありません。ここで出会い、語り合ったことが、皆さんにとって大切な思い出になれば、主催者としてこれほどうれしいことはありません。本日は誠におめでとうございます。

表彰式概要

日時 ：11月8日（日）　場所 ：女子美術大学　杉並キャンパス
表彰校
＜メイン大会＞最優秀賞：宮崎県立佐土原高等学校
優秀賞：埼玉県立大宮光陵高等学校、東京都立国際高校、好文学園女子高等学校
入賞：福島県立会津高等学校、埼玉県立新座総合技術高等学校
＜ジュニアの部＞最優秀賞：真岡市立真岡東中学校
優秀賞：武蔵野市立第三中学校、江戸川区立南葛西中学校、野田市立第一中学校
入賞：松田町立松田中学校、春日井市立岩成台中学校
※武蔵野市立第三中学校、春日井市立岩成台中学校は当日ご欠席
ゲスト（審査員）　三澤　一実氏、熊沢 加奈子氏、西村 愛子氏、吉田 朋弘氏
（協賛会社）日本白墨工業株式会社　宮本 淳司社長

[主催 日学株式会社]
設立:1957年9月　代表取締役社長 吉田 朋弘（東京都品川区大井1-49-15　YK-17ビル5階）
学校などの教育関連・公共機関・オフィス向けの黒板・ホワイトボード、電子黒板、掲示板などのメーカー。高品質なアルミホーロー表面材を使用した黒板、壁面ホワイトボード「SMW」などを製造・販売。

◆コーポレートサイト：https://www.nichigaku.co.jp/
◆日学･黒板アート甲子園事務局　E-mail：kokubanart@nichigaku.co.jp
TEL　:03-6429-7070
【リリースに関するお問い合わせ】
株式会社ブルズアイコミュニケーションズ　日学･黒板アート甲子園®係
担当者：大井･宮部　E-mail：kokubanart@bullseyecom.co.jp　TEL：03-6275-2756